
魔導新世紀リリカルなのはGATECENTURY

可能性の出来損ない

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

魔導新世紀リリカルなのはGATECENTURY

【Nコード】

N3414Y

【作者名】

可能性の出来損ない

【あらすじ】

ヴァイスとウォーを撃破し、平和を手にした者達。だが次なる魔の手は既に迫っていた。ミッドチルダと美闘士の世界…二つの世界は再び結ばれ同じ運命を共に歩む。

この話の主人公は【レイヴン】と【スバル】です。

第1話 敵…？

俺は戦争で世界を失い、放浪の魔剣士として、ナナエルと旅をしていた。全てはウォーを倒し、平和な時代を築く為…そう一人で思い込む俺はウォーと言う存在を後盾に息を潜める者達の存在に気付かず、世界を旅する俺の物語は始まる。

魔導歴125年、俺はアルドラの命で、世界に現れた無数の結晶らしき物を調査していた。赤い宝石、黒い宝石、果てには七色に光る宝石まで確認できた。一応、危険が無い事を確認の上で、全部の宝石を持ち帰り、アルドラに手渡す。

「ご苦労だったな、レイヴン」

「俺は世界から見放された者だ。それに多少、危険な気配を感じる」
光り輝く宝石…普通の者から見れば、純粋な宝石だが、レイヴンやアルドラから見れば邪悪な意思を持つ危険な代物である事は十分に分かった。アルドラも駆除を開始するが、異常な魔力を帯びる謎の結晶は危険極まりなく、魔法に対して耐性が無ければ、自分自身が宝石に飲み込まれる程だった。被害者を出さぬ為に早急な排除が必要だが、危険な上に出所を確定できなければ、民間の間に被害者が出るのも時間の問題だった。

「どうする気だ？アルドラ…」

「今の余には、お前と言う駒しか無い。お前に行つて貰う事になるぞ？」

「別に俺は構わない。俺なら魔法に対しての耐性はあるしな」

アルドラの命を受け、レイヴンは宝石の確認されている地域に向かう。一応、宝石は【ヒノモト】や【エルフの森】は浸食しておらず、ヴァンス家の領内や砂漠地帯などの方面が結晶に脅かされていた。ヴァンス城に居る【レイナ】や【クロードット】の力を借りる為にレイヴンは急ぎ足でヴァンス城に向かう。だが…ヴァンス家領内に入った時には家や物見やぐら、道などが一面、結晶に覆われてい

た。被害者の報告は無いが、結晶内には抵抗をする間もなく、閉じ込められた人々が居た。レイヴンは宝石に触れる。それと同時に宝石はレイヴンを取り込もうと、再び浸食を始める。レイヴンは一応アルドラに状況を知らせ、宝石と鬼ごっこを続ける。

「つまり…もうヴァンス領内は破棄と言う事か？」

「話を聞け。俺はヴァンス城に向かう。生き残りはそっちに連れてくぞ？」

「構わない。今は情報が欲しいからな」

アルドラの了承を得たレイヴンは、迫る宝石を魔法で足止めしヴァンス城に来る。何故かヴァンス城には、宝石の欠片も無く結晶の侵略も目の前で止まっていた。レイヴンは衛兵に用事を伝え、現在の当主【レイナ・ヴァンス】に話をする。向こうも異変には気付いていたが、クローデットが様子見に出て行っている為に動く訳には行かなかった。一応、把握している事を話し、協力を願うがクローデットの行方が分からぬまま当主が留守にするのも無理な為にレイナは断る。

「ごめん…でも、お姉さまが帰れば必ず…！？」

「大変です。クローデット様が…結晶に取り込まれました！！」

衛兵の言葉にレイヴンが外に出ると、謎の女性と共に結晶内部にはクローデットが居た。

「へえ……君がレイヴン・ロイトか、やっぱり欲しいな。ねえ君、私と結婚してよ」

「お前の目的は？」

「私の目的は全世界の結晶化。それと君のゲットだよ！」

「俺を手にするメリットは？」

レイヴンは聞くが、それ以上の事は言わずに女性は結晶内に閉じ込められたクローデットをレイヴンに渡す。レイヴンは倒さぬ様に抑える。それと同時に結晶は溶け始めクローデットは自由の身を得る。向こうの意図が読めぬレイヴンは迂闊な行動を取らずに慎重な行動を心がける。だが向こうは攻撃する素振りすら見せずに、こちらを

見つめる。

「お前の名は？」

「私はロドシア・リイン。あなたの妻となる者です」

「敵なのか、それとも…」

「あなたの心次第ですよ。私はあなたと結ばれたいだけですから」

闘争心も警戒心も一切出さずにロドシアは撤退する。レイヴンは敵とも味方の感じも感じる彼女に驚きを隠せず、一度、報告の為にアルドラの元に戻った。

第1話 敵…？（後書き）

敵と対峙したレイヴン。だがレイヴンは彼女の事を敵として認識できなかった。

次回 揺れる心…

それは、運命の選択？

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3414y/>

魔導新世紀リリカルなのはGATECENTURY

2011年11月8日06時07分発行